



松竹株式会社

証券コード9601

第149期 報告書

(平成26年3月1日から平成27年2月28日まで)



©2015 「愛を積むひと」製作委員会

松竹株式会社

代表取締役社長 迫本 淳一



平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

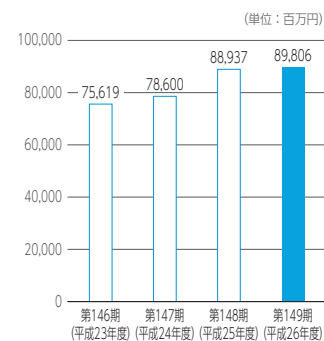
さて、当社は第149期（平成26年3月1日から平成27年2月28日まで）の事業活動を終了いたしましたので、業績並びに事業の概況につきましてご報告申し上げます。

なお、当期の期末配当につきましては、普通配当の3円に創立120周年記念配当の1円を加え、1株当たり4円とさせていただきます。

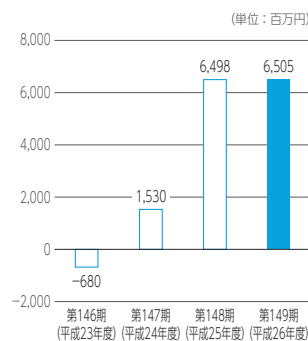
株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

連結決算ハイライト

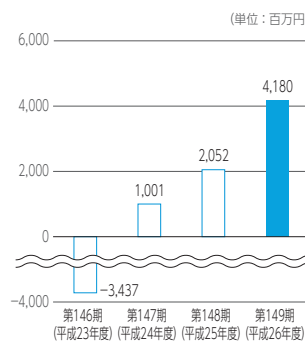
売上高



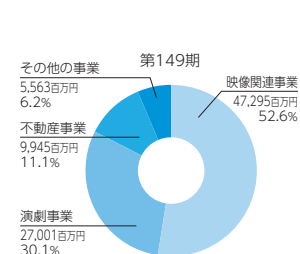
経常利益



当期純利益



事業別売上高



事業の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、消費税率上げの影響を受ける中、企業収益や雇用情勢の改善により緩やかな回復基調で推移した一方、消費者マインドの弱さや海外景気の下振れ等がリスク要因となり、依然不透明な状況のまま推移しました。

映画業界は、興行収入2,070億3,400万円（前年比106.6%）、入場人員1億6,111万6千人（前年比103.4%）となり、4年振りに2,000億円を超えました。邦画・洋画の構成比は邦画が58.3%、洋画が41.7%となり、国内興行収入が歴代3位となった「アナと雪の女王」の影響もあり、洋画のシェアが3年振りに40%台になりました。全国のスクリーン数は3,364スクリーンとなり、前年より46スクリーン増えました。

演劇業界は、歌舞伎が活況を呈し、新開場2年目の歌舞伎座は好調に推移しましたが、演劇興行をとりまく環境は決して楽観できるものではなく、魅力的な公演の製作や販路の拡大等により、お客様の裾野を広げていくことが課題となりました。

不動産業界は、賃貸オフィスビル市場で、新規供給が抑制されていることを背景に空室率は改善傾向が見られ、2020年の東京オリンピック・パラリンピック招致が決定したことで中長期的期待が生まれる中、工事費の上昇等、引き続き注視が必要な状況が続きました。

このような状況下、当社グループはより一層の経営の効率化を図るとともに、積極的な営業活動を展開しました。以上の結果、当連結会計年度は、売上高89,806百万円（前連結会計年度比101.0%）、営業利益7,510百万円（同87.3%）、経常利益6,505百万円（同100.1%）となり、特別利益779百万円、特別損失413百万円を計上し、当期純利益は4,180百万円（同203.7%）となりました。

以下、事業別の概況をご報告申し上げます。

映像関連事業

【配給】邦画10本、洋画3本、アニメ3本、シネマ歌舞伎、METライブビューイング、ODSとバラエティに富んだ作品を公開しました。上期は期首に公開したゴシップエンターテインメント「白ゆき姫殺人事件」、日本アカデミー賞最優秀脚本賞を受賞した6月公開「超高速！参勤交代」、ティーン的女性から支持された7月公開「好きっていいなよ。」が好成績を収め、8月公開「ホットロード」は80年代に圧倒的支持を集めた少女コミックを映画化し、幅広い層の支持を得て大ヒットとなりました。下期は、11月公開「紙の月」が数々の映画賞を受賞し話題を呼びました。

【興行】(株)松竹マルチプレックスシアターズにて、大ヒットとなった「アナと雪の女王」をはじめ、邦画、洋画、アニメ、ODSを合わせて365本の作品を上映しました。その他、ライブビューイング、イベント上映等、幅広いラインナップの興行を行い、好調に推移しました。

【テレビ制作】シリーズ企画「天才刑事 野呂盆六」 「だまし系歌麿Ⅳ」 「必殺仕事人2014」 「剣客商売 鬼熊酒屋」 「鬼平犯科帳スペシャル 密告」 等を受注制作し、収益に貢献しました。

【映像版權】 <DVD・ブルーレイディスク販売> 「小さいうち」 「超高速！参勤交代」 等の自社配給作品を発売した他、「男はつらいよ」49作品のHDリマスター版や旧作映画をセレクトした「あの頃映画」の第4シリーズをお求めやすい価格で販売しました。

<権利販売> テレビ放映権販売は、地上波で、高倉健を偲んで放映された「幸福の黄色いハンカチ」が高視聴率を上げました。BSではBSジャパンにて毎週土曜日に「男はつらいよ」シリーズが放映された他、WOWOWにて「釣りバカ日誌」シリーズ全22

作品が放映されました。配信では「男はつらいよ」全作品をはじめ、自社配給作品が売上を牽引しました。

【CS放送】CS業界でスカパーやケーブルテレビの契約数が大きく減少する等、非常に厳しい状況が続く中、松竹ブロードキャスト(株)は、映画・舞台・ドラマ等の番組編成の継続的な強化による契約数の増加と広告営業の強化により、収益の拡大を実現しました。

演劇事業

【歌舞伎座】新開場2年目の歌舞伎座は、松竹の歌舞伎座経営百年を記念した3月、4月の鳳凰祭や5月の十二世市川團十郎追善の團菊祭、10月の十七世・十八世中村勘三郎追善興行、11月の初世松本白鸚追善興行等の記念公演をはじめ、好調を持続した一年となりました。中でも、市川染五郎、尾上松緑、尾上菊之助、市川海老蔵、中村勘九郎、中村七之助といった花形世代が大役を勤め、大きな話題を集めました。

【新橋演舞場】3月にスーパー歌舞伎Ⅱ（セカンド）の第一弾、市川猿之助主演による「空ろ刻ム者ー若き仏師の物語ー」が大盛況となったのをはじめ、4月から5月にかけて「滝沢歌舞伎2014」、7月に創立65周年を迎えた松竹新喜劇による16年ぶりの演舞場公演、12月に藤山直美公演、2月にミュージカル「ブラッドブラザーズ」等、バラエティに富んだ公演が続きました。11月の新派公演は、歌舞伎座の「十月大歌舞伎」公演から続く十七世・十八世中村勘三郎の追善公演となりました。

【大阪松竹座】恒例の「七月大歌舞伎」、片岡愛之助を中心とした「十月花形歌舞伎 GOEMON」は、新たに今井翼をゲストに迎え好成績を収めました。中村鷹治郎襲名披露興行の皮切りとなる



「超高速！参勤交代」
©2014「超高速！参勤交代」製作委員会



「紙の月」
©2014「紙の月」製作委員会



平成26年11月 歌舞伎座 「勘進帳」
©松竹株式会社

「壽初春大歌舞伎」「二月大歌舞伎」は全国的に大きな話題を集めました。4月のスーパー歌舞伎Ⅱ（セカンド）「空ヲ刻ム者－若き仏師の物語－」と6月藤山直美主演の「母をたずねて膝栗毛」は、新橋演舞場での盛況を受けての上演で堅実な収益を上げ、恒例の関西ジャニーズJr.公演に加え、ジャニーズWESTデビュー記念公演が収益に貢献しました。

【南座】6月の「坂東玉三郎特別舞踊公演」が好成績を収め、藤山直美主演の「八月喜劇夏祭り」、市川海老蔵の通し狂言「壽三升景清」が話題を集めた「九月花形歌舞伎」も高稼働し、12月の「吉例顔見世興行」は豪華出演者と演目で好評を博しました。また、4月に「歌舞伎ミュージアム」、5月に「歌舞伎鑑賞教室」を開催し、歌舞伎の裾野を広げました。

【その他の公演】浅草公会堂にて「新春浅草歌舞伎」は尾上松也を筆頭とする若手俳優中心の公演で活況を呈し、歌舞伎の次世代の着実な成長を印象付けました。8月に青山劇場にて人気漫画を舞台化した「ガラスの仮面」は、初日以降大きな評判を呼び、大盛況となりました。

【受託製作】明治座は「五月花形歌舞伎」にて市川染五郎による「伊達の十役」が話題を呼び、市川猿之助の東京での奮闘連続公演となった「十一月花形歌舞伎」は好評となりました。

【シネマ歌舞伎・METライブビューイング】《シネマ歌舞伎》昨年度好評を博した「月イチ歌舞伎」（過去作品の再上映）や「シネマ歌舞伎クラシック」（第四期歌舞伎座の舞台収録映像を利用したシリーズ）の第2弾を上映し、新派にジャンルを拡大してグランドシネマと銘打った坂東玉三郎の「日本橋」と合わせて大きな話題を呼びました。また、1月に公開した「二人藤娘」「日本振袖始」は、シネマ歌舞伎としては記録的な大ヒットとなりました。

《METライブビューイング》2013-14シーズン10作品の内「ルサルカ」等6作品、2014-15シーズン10作品の内「メリー・ウィドウ」等6作品を上映し大好評を博しました。

不動産事業

不動産賃貸は、歌舞伎座タワー、築地松竹ビル（銀座松竹スクエア）が満室稼働し、新宿松竹会館、有楽町センタービル（マリオ）、大船の松竹ショッピングセンター、新木場倉庫等が順調に推移し、安定収入に貢献しました。各ビルとも効率的運営、経費削減に努め、計画通りの利益を確保しました。

その他の事業

《プログラム、キャラクター商品》自社配給作品に加え、洋画では「ホビット 竜に奪われた王国」「ホビット 決戦のゆくえ」が好調に推移しました。その他、「るろうに剣心 京都大火編」「るろうに剣心 伝説の最期編」「機動戦士ガンダムUC episode7 虹の彼方に」「THE NEXT GENERATION－パトレイバー－」等、ODSを含めた特定ファンを有する作品の売上が好成績を上げました。

《イベント事業》関東の遊園地にて「ポリジョイサーカス」を開催し、新たなイベントコンテンツとして海外人気キャラクター「ペネロペ」の世界を紹介するイベントを百貨店で開催しました。また、2011年のオープン以来好調な「松竹歌舞伎屋本舗」は今期も引き続き売り上げ好調で、通販大手Amazonにも出店し、販売拠点を拡大しました。



平成26年11月 新橋演舞場
「鶴八鶴次郎」
©松竹株式会社



平成26年8月 南座
「はなのお六」
©松竹株式会社



「歌舞伎座タワー」
©松竹株式会社・
株式会社歌舞伎座



「ポリジョイサーカス」
©ポリジョイサーカス

対処すべき課題

今後のわが国の経済は、雇用・所得環境の改善傾向が続くなか、各種政策の効果もあり、緩やかに回復していくことが期待されますが、消費者マインドの弱さや海外景気の下振れ等が景気を下押しするリスクとなっています。

当社グループは、コンプライアンス経営の強化に取り組み、社会情勢に対応しつつ企業価値を高め、あらゆる世代のお客様に喜んでいただける映像・演劇コンテンツを創造して参ります。

《映像関連事業》映画製作・配給は、独自の企画・製作力を高めるとともに、一本一本丁寧な営業・宣伝・販売活動に尽力し、お客様に喜ばれる作品を提供して参ります。“日本で最も美しい村”北海道・美瑛を舞台に、夫婦とそこに集う人々を優しく映し出す感動作「愛を積むひと」、終戦の舞台裏を描いた傑作ノンフィクションを豪華キャストで完全映画化した「日本のいちばん長い日」、東野圭吾原作のクライシス・サスペンス超大作「天空の蜂」、戦後70年の節目に山田洋次監督が作家・井上ひさしの遺志を継いでつくる「母と暮せば」等を公開する予定です。

《演劇事業》一般販売の促進と共に団体販売も充実させながら、話題の舞台を提供して参ります。新開場後の歌舞伎座にて初の襲名披露興行となりました「四代目中村鴈治郎襲名披露四月大歌舞伎」をはじめ、3年ぶりの平成中村座公演を4月、5月に浅草寺境内にて行い、10月、11月には新橋演舞場におきまして、累計発行部数3億2千万部を超える大人気漫画「ONE PIECE」をスーパー歌舞伎Ⅱ（セカンド）の第二弾として上演いたします。また、チケット販売サイト「チケットWeb松竹」では、スマートフォンに対応し、お客様のニーズにお応えすべく利便性を向上させて参ります。

シネマ歌舞伎は、平成26年6月のコクーン歌舞伎公演で大きな話題を呼んだ「三人吉三」を全く新しいスタイルのNEWシネマ



「愛を積むひと」
©2015「愛を積むひと」製作委員会



「日本のいちばん長い日」
©2015「日本のいちばん長い日」製作委員会



「Kabuki Gate」

連結財務諸表

■ 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期末	前期末
	平成27年2月28日現在	平成26年2月28日現在
資産の部		
流動資産	36,388	47,928
固定資産	158,263	155,814
有形固定資産	109,995	111,998
無形固定資産	2,892	2,908
投資その他の資産	45,375	40,907
資産合計	194,652	203,742
負債の部		
流動負債	42,511	70,715
固定負債	75,670	63,510
負債合計	118,181	134,225
純資産の部		
株主資本	69,425	65,817
資本金	33,018	33,018
資本剰余金	30,135	30,135
利益剰余金	7,595	3,968
自己株式	△ 1,324	△ 1,305
その他の包括利益累計額	6,992	3,652
その他有価証券評価差額金	6,929	3,652
退職給付に係る調整累計額	63	—
少数株主持分	52	46
純資産合計	76,470	69,517
負債・純資産合計	194,652	203,742

■ 連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

当 期 自 平成26年3月 1日 至 平成27年2月28日	株主資本				少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		
平成26年3月1日 残高	33,018	30,135	3,968	△1,305	65,817	69,517
連結会計年度中の変動額						
剰余金の配当			△553		△553	△553
当期純利益			4,180		4,180	4,180
自己株式の取得				△19	△19	△19
持分法適用会社に対する 持分変動に伴う自己株式の増減				△0	△0	△0
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)					3,276	3,345
連結会計年度中の変動額合計	—	—	3,627	△19	3,608	6,953
平成27年2月28日 残高	33,018	30,135	7,595	△1,324	69,425	76,470

■ 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当 期	前 期
	自 平成26年3月 1日 至 平成27年2月28日	自 平成25年3月 1日 至 平成26年2月28日
売上高	89,806	88,937
売上原価	50,565	48,744
売上総利益	39,240	40,192
販売費及び一般管理費	31,730	31,587
営業利益	7,510	8,604
営業外収益	721	666
営業外費用	1,726	2,772
経常利益	6,505	6,498
特別利益	779	—
特別損失	413	3,112
税金等調整前当期純利益	6,871	3,386
法人税、住民税及び事業税	2,302	1,472
法人税等調整額	383	△ 145
法人税等合計	2,685	1,326
少数株主損益調整前 当期純利益	4,185	2,059
少数株主利益	5	7
当期純利益	4,180	2,052

■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当 期	前 期
	自 平成26年3月 1日 至 平成27年2月28日	自 平成25年3月 1日 至 平成26年2月28日
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,584	14,923
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,809	△ 8,550
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 19,610	△ 6,784
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 10,217	△ 412
現金及び現金同等物の期首残高	19,769	20,181
現金及び現金同等物の期末残高	9,552	19,769

個別財務諸表

■ 貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期末	前期末
	平成27年2月28日現在	平成26年2月28日現在
資産の部		
流動資産	15,307	23,208
固定資産	125,180	112,697
有形固定資産	47,116	48,339
無形固定資産	3,030	3,028
投資その他の資産	75,033	61,330
資産合計	140,487	135,906
負債の部		
流動負債	31,120	25,393
固定負債	32,058	39,448
負債合計	63,178	64,841
純資産の部		
株主資本	70,434	67,428
資本金	33,018	33,018
資本剰余金	29,929	29,929
利益剰余金	8,366	5,342
自己株式	△ 880	△ 861
評価・換算差額等	6,874	3,636
その他有価証券評価差額金	6,874	3,636
純資産合計	77,308	71,064
負債・純資産合計	140,487	135,906

■ 株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

当 期 自 平成26年3月 1日 至 平成27年2月28日	資本金	株主資本						評価・換算差額等		純資産合計		
		資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本 合計		その他 有価証券 評価差額金	
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	固定資産 圧縮積立金	繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計					
平成26年3月1日 残高	33,018	27,935	1,993	29,929	3,717	1,625	5,342	△861	67,428	3,636	3,636	71,064
事業年度中の変動額												
固定資産圧縮積立金の取崩					△43	43	—		—			—
剰余金の配当						△553	△553		△553			△553
当期純利益						3,577	3,577		3,577			3,577
自己株式の取得								△19	△19			△19
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)										3,238	3,238	3,238
事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	△43	3,068	3,024	△19	3,005	3,238	3,238	6,243
平成27年2月28日 残高	33,018	27,935	1,993	29,929	3,673	4,693	8,366	△880	70,434	6,874	6,874	77,308

大阪松竹座 中村鴈治郎襲名披露

1年に及ぶ中村鴈治郎襲名披露公演のスタートを切る大阪松竹座公演では平成26年10月、演目の製作発表が行われ、襲名披露パーティーも開催、上方の大名跡の復活に期待がかかる中、新鴈治郎が12月初頭、関西のマスコミ各社、大阪府、大阪市を訪問、ご挨拶をもって襲名行事の幕開けを飾りました。数々のテレビ出演、新聞各紙の取材と共に、年末には通天閣で行われる恒例の干支引き継ぎ式にも出席、そして襲名記念の船乗り込みが暮も押し迫った12月28日に行われました。通常は初夏に行われていますが、今回大阪では初の真冬の船乗り込みとなりました。新鴈治郎が船上から晴れやかに手を振ると「成駒家！」と大向こうもかかり、寒風の中熱気溢れる行事となりました。マスコミの注目度も高く、当日のニュース、翌日の新聞各紙にて大きく報道されました。そして大阪松竹座の前には1枚高さ3m幅6mの巨大看板が左右に飾られお客様をお出迎えました。

4月の歌舞伎座、6月の博多座、7月、9月の巡業公演、そして12月の南座・吉例顔見世興行まで続く公演の幕開けを華々しく飾ることが出来ました。



©松竹株式会社



©松竹株式会社



©松竹株式会社

新 作 映 画 情 報



©2015「日本のいちばん長い日」製作委員会



©2015「日本のいちばん長い日」製作委員会

「日本のいちばん長い日」

戦後70年を迎える今こそ、すべての日本人に伝えたい——
1945年8月15日の知られざる真実。

太平洋戦争末期、戦況が絶望的となった1945年7月、日本は連合国からポツダム宣言の受諾を迫られる。降伏か、本土決戦か—連日連夜、閣議が開かれるが議論は紛糾、結論は出ない。そうするうちに広島、長崎には原爆が投下され、何十万もの命が散った。

遂に、昭和天皇は聖断による降伏を決定。8月14日正午から、天皇自ら玉音放送で国民に終戦を知らせた8月15日の正午に至る“日本のいちばん長い日”に、一秒ごとによって変わった日本の運命とは——？

原作は半藤一利の傑作ノンフィクション「日本のいちばん長い日 決定版」。さらに、2014年に宮内庁から発表された「昭和天皇実録」を参考に、昭和天皇とともに戦争を終結に導いた鈴木貫太郎首相の姿を描く「聖断」（半藤一利著）の要素も加え、今だからこそ描ける歴史の裏側に迫る。

徹底抗戦を主張する陸軍を代表しながらも、天皇の身を案じて苦悩する陸軍大臣・阿南惟幾（役所広司）。国民を想って平和を求める昭和天皇（本木雅弘）。終戦に向けて閣議を動かしていく鈴木貫太郎首相（山崎努）。ただ閣議を見守るしかない迫水久常

内閣書記官長（堤真一）。一方、終戦に反対する畑中少佐（松坂桃李）ら青年将校たちはクーデターを計画する。日本が破滅へと向かう中、平和への礎を築くために苦悩し、身を挺した人々の壮絶なドラマ。

メガホンをとるのは、「クライマーズ・ハイ」「わが母の記」「駆込み女と駆出し男」の原田真人監督。ベテランから、躍進目覚ましい若手俳優まで、今の日本映画界を代表するキャストの豪華競演が実現。すべての日本人に伝えたい、戦後70年の壮大な記念碑となる感動作が、ここに誕生しました。

「日本のいちばん長い日」

役所広司 本木雅弘 松坂桃李 堤真一 山崎努
原作：半藤一利「日本のいちばん長い日 決定版」（文春文庫刊）
監督・脚本：原田真人
8月8日（土）公開
©2015「日本のいちばん長い日」製作委員会

会社の概要

商号 松竹株式会社
 設立 大正9年11月
 資本金 33,018,656,642円
 従業員数 530名

本社、支社および営業所

本社 東京都中央区築地四丁目1番1号
 電話 03-5550-1534 (総務課)
 関西支社 (大阪)
 九州営業所 (福岡)

当社ホームページ

<http://www.shochiku.co.jp/>

役員

代表取締役会長	大谷 信義
代表取締役社長	大迫 本 淳
取締役副社長	安孫子 一正
専務取締役	細田 光人
常務取締役	武中 雅人
常務取締役	大角 正也
常務取締役	岡崎 哲文
社外取締役相談役	上條 清一
取締役	秋元 孝康
取締役	関根 成之
取締役	山根 成之
常勤監査役	岡田 敏明
社外監査役	鈴木 茂晴
社外監査役	牛島 信司
社外監査役	立花 貞司

グループ会社一覧

連結子会社

- ・松竹衣裳 (株)：舞台衣裳等の製作・販売・賃貸
- ・(株)松竹サービスネットワーク：映画関連グッズの販売、各種イベントの企画製作および運営、不動産管理・清掃、フラワー事業、損害保険の代理、警備、旅行者者代理業
- ・松竹関西サービス (株)：不動産管理・清掃
- ・(株)ショウビズスタジオ：舞台、映画、テレビ、ラジオの番組企画・製作並びに音響効果の企画・製作・再生
- ・松竹芸能 (株)：タレント・俳優の養成並びにマネージメント、演劇・テレビドラマ・イベントの企画・製作
- ・松竹ブロードキャスティング(株)：CS・CATV放送、ソフト製作・編集【衛星劇場・ホームドラマチャンネル】
- ・(株)松竹撮影所：劇場用映画・テレビ映画の製作、短編・CM映画の製作並びに請負
- ・(株)松竹映像センター：映像制作、編集およびDVDオーサリング
- ・(株)松竹マルチプレックスシアターズ：複合映画館(シネマコンプレックス)の開発・運営
- ・松竹音楽出版 (株)：映画音楽の制作並びに音楽著作権の管理
- ・松竹ナビ (株) ※：宣伝の企画・制作・代理 ※平成27年2月9日設立
- ・歌舞伎座舞台 (株)：演劇舞台の道具製作・販売
- ・(株)関西美術：演劇舞台の小道具製作・賃貸
- ・日本演劇衣裳 (株)：舞台衣裳等の製作・販売・賃貸
- ・(株)松竹エンタテインメント：俳優・芸能タレント・音楽家・スポーツ選手・アーティストの育成並びにマネージメント
- ・匿名組合築地ビルキャピタル：築地松竹ビルの賃貸および管理
- ・KSビルキャピタル特定目的会社：歌舞伎座タワーの賃貸および管理

持分法適用会社

- ・(株)サンシャイン劇場：サンシャイン劇場の賃貸、演劇・映画の興行他
- ・(株)イヤホンガイド：演劇劇場内イヤホンガイドサービス
- ・(株)歌舞伎座：歌舞伎座その他事務所・店舗の賃貸
- ・新橋演舞場 (株)：新橋演舞場その他の事務所・店舗の賃貸
- ・インターローカルメディア(株)：放送法による委託放送業務およびその他の放送一般事業
- ・歌舞伎座サービス (株)：食堂・飲食店舗・売店の経営

株式の状況

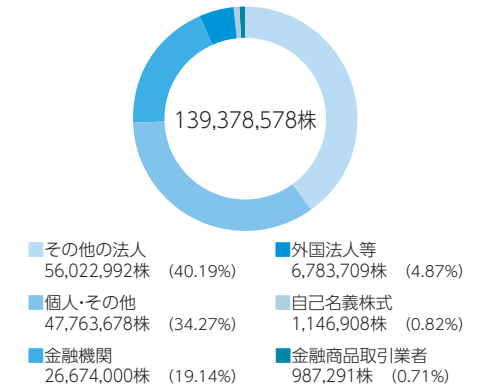
発行可能株式総数 300,000,000株
 発行済株式の総数 139,378,578株 (自己株式1,146,908株を含んでおります。)
 株主数 16,660名 (前事業年度末比1,195名減)

大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
株式会社歌舞伎座	4,802千株	3.47%
株式会社みずほ銀行	4,500千株	3.26%
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,344千株	3.14%
セコム株式会社	3,700千株	2.68%
清水建設株式会社	3,690千株	2.67%
株式会社大林組	3,600千株	2.60%
西松建設株式会社	3,288千株	2.38%
大成建設株式会社	3,104千株	2.25%
三井物産株式会社	2,700千株	1.95%
株式会社TBSテレビ	2,542千株	1.84%

(注) 持株比率は自己株式 (1,146,908株) を控除して計算しております。

【所有者別株式分布表】



株主優待基準

【株主優待権利確定日および優待期間】

権利確定日	優待期間
毎年2月末日	毎年6月～同年11月
毎年8月末日	毎年12月～翌年5月

※6ヶ月ごとに株主様へ優待内容通知をご送付いたします。

【映画優待 ポイント付与基準】

保有株式数	6ヶ月優待ポイント数 (1ヶ月使用可能ポイント数)	
1,000株以上	80ポイント	(40ポイント)
2,000株以上	160ポイント	(60ポイント)
3,000株以上	200ポイント	(80ポイント)
5,000株以上	280ポイント	(100ポイント)
8,000株以上	400ポイント	(120ポイント)
10,000株以上	480ポイント	(140ポイント)

【演劇優待 枚数基準】

保有株式数	6ヶ月優待枚数
3,000株以上	2枚
5,000株以上	4枚
8,000株以上	6枚
10,000株以上	8枚
15,000株以上	12枚
20,000株以上	16枚

※「6ヶ月優待ポイント数」とは、優待権利期間の6ヶ月の間に使用できるポイント総数です。そのポイント総数の内、1ヶ月に使用できる上限のポイント数を示しているのが、「1ヶ月使用可能ポイント数」です。
 ※1名様につき、10ポイントが必要となります。なお、「新宿ピカデリー」のみ1名様20ポイントが必要となります。
 新宿ピカデリーは公開の2週目(8日目)以降から利用可能です。「プラチナシート」・「プラチナルーム」はご利用になれません。
 ※3D映画は、1名様につき15ポイント(通常10ポイントの1.5倍)で、ご鑑賞可能となります(「新宿ピカデリー」のみ30ポイント)。

株主メモ

事業年度 3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会 毎年5月下旬
株主確定基準日 定時株主総会 2月末日
期末配当 2月末日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同 連絡先 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)
インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

単元株式数 1,000株
公告掲載URL <http://www.shochiku.co.jp/company/ir/>
(ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法によって公告いたします。)

【お知らせ】

1.ご注意

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記の特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 配当金の口座振込のご指定手続きにつきましては、配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなります。振込指定のお手続きにつきましては各口座管理機関にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

2.配当金計算書について

配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受取になられる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受取になった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

●1単元(1,000株)未満の株式をお持ちの株主様へ【買増・買取制度のご案内】

当社株式の証券市場での取引は1単元=1,000株となっているため、単元未満株式を市場で売買することはできません。このため、当社では、1単元(1,000株)に不足する株式を買い増して、1,000株にまとめることができる「単元未満株式の買増制度」、1,000株に満たない株式を当社へ売却することができる「単元未満株式の買取制度」をご用意しております。

お手続きの方法

- 当社株式を証券会社等の口座でお持ちの株主様
お取引の証券会社等へお問い合わせください。
- 上記以外、特別口座でお持ちの株主様
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)へ
お問い合わせください。

●特別口座で株式をお持ちの株主様へ

特別口座に記録されている株式は、株式市場で売買できません。株式市場で売買するためには、証券会社等に口座を開設し、特別口座から証券会社等の口座へ株式をお振り替えいただく必要がございます。

お手続きは、上記の三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部へお問い合わせください。

！買増・買取制度の例(1,200株ご所有の場合)



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。